

自分の経験から思ったこと

伊勢原市立山王中学校

三年

原樹 はらいつき

人の助けが必要な時は、ちゅうちよせず  
助けを求めたらいいと思います。なせなら、  
私はそういう経験をしたからです。私は、幼  
稚園の時ぐらいから小学校の3、4年生ぐら  
いまで吃音というものがありました。私の場  
合は、最初の言葉が連続して話したり、話す  
タミミンがかか分からず言葉が詰まることかあ  
りました。最初は周りの人たちも気にしてい  
なかつたし、自分もそこまで気になりませ  
んでした。しかし、小学校に上がってからは授  
業で音読する時に吃音が出てうまく読めませ  
んでした。それをからかってくる人もいまし  
たが、先生が事情を話してくれてからはほと  
んど減りました。ですが、吃音はひどくなる  
一方だからかゆめることはなくなりました。の  
自分の中では、うまく話せないことも思っ  
たことをすく言えないのか嫌でした。ま  
なかつた

です。そんなこともあって先生がすすめてくめたことはあの教室という所に放課後通っていた。通い始めはそんな所に行っているのか他の人とは違かったのか嫌で仲良しい友達以外には隠していました。先生にはみんなに言わなくてほしいと頼むほどでした。老々、人見知りで周りのことを気にしすぎる性格なのでみんなに知られたくなかったのかもしぬません。しかも前に書いたように吃音はひどくなっていた。しゃべろうとするとき

息がしにくく、苦しい時もあったので人と話すことが苦痛だと思ふときもありました。一言目さえ発せぬはじり始められるのにその一言が発せないことが悔しかったです。友達とさえもスラスラと話していることが憎いと思つてました。うことはあの教室では友達かでき行くのか嫌だったのかそこまで嫌ではなくなっていました。今になつて思うことは通い始めるまでは私みたいなしゃべりをする人は誰もいなかったです。自分

以外にもいるということが知れて安心したから、少しは楽になれたんだと思います。それから、あまりちやうどせず、人と話すことが出来るようになり、友達ともコミニケーションもするようになりました。そういう風にしていたら、どんな吃音が出るかなど、なりある言葉が最初に来る時や緊張している時にしか出なくなり、今、思えば人を頼ってよかったです。今、思えば人を頼ってよかったと思います。

みんながゆかーは、人に頼りづらいと思

たことかあると思います。人によつて、思うことは全然違ふと思います。私の場合は、ほとんどのことか、ない限りは人に頼ることはあまりしたくなかったです。吃音が出た時は、自分のことかで迷惑をかけたくないと思、一人でため込んでいました。か、人に話す、一気に安心出来ました。ここまで、たくさんの人に助けってもらいました。ここまで、スムーズに話せるようになったのは、ここの先生の教室の先生や小学校の先生、そしてお母さんなどたくさん

の人の助けがあったからです。人に助けを求めたり、頼ることは勇気がいりますか。頼って自分か安心出来るのであれば、信用出来る人に頼ることも大事です。少しでも多くの人が一人のために込めず、人を頼れるようになることを願っています。